

トクサンコーカン

天理参考館
公開講演会

第 264 回

華麗なる唐三彩の世界

—天理参考館蔵品を中心に—

9 月 22 日 (土) 講師：青木 智史 (学芸員)

唐三彩は華麗で絢爛たる唐時代を象徴する陶磁器といって良いでしょう。一見してそのデザインに西アジア地域の強い香を感じ取ることができる資料も多く存在します。唐三彩は、シルクロードを經由して中国に至った西アジアの文化と中国伝来の技術と美意識が融合してできた国際国家・唐ならではの陶磁器なのです。天理参考館蔵品の唐三彩を通じてその華麗なる世界を紹介します。

企画展「華麗なるササン王朝 —正倉院宝物の源流—」関連イベント

第 265 回

ササン朝ペルシアの剣と冑

11 月 24 日 (土) 講師：巽 善信 (学芸員)

天理参考館には世界的にも珍しいササン朝の黄金装鉄剣・銀装短剣そして銀製冑があります。その豪華な装いには意味があります。本講演では、これら参考館資料と類例を比較することで見えてくる、ササン朝、ローマそして中央アジアにいた騎馬民族との、文化的交流を解明したいと思えます。

新春展「吉祥づくし明治の引札 —商家の広告印刷物にみる福德円満のかたち—」関連イベント

第 266 回

明治の引札広告を絵解きする

1 月 19 日 (土) 講師：中谷 哲二 (学芸員)

江戸後期から明治・大正・昭和初期にかけて、主に商家が自店の広告のために制作した印刷物を「引札」(ひきふだ)とといいます。現在のチラシ・ダイレクトメールやカレンダーに相当するでしょう。その多くは一枚の紙に刷られ、綺麗な目を引く絵柄(えがら：イラスト)が描かれます。その時代時代の庶民が日々のくらしを送る中で、新春を祝い、福德円満・商売繁盛を願うところがこの絵柄から垣間見えます。今回はそれぞれの絵柄の持つ意味合いを探ります。

◆会場：当館研修室 ◆時間：13 時 30 分～(受付は 30 分前より)

◆定員：100 名(申込み不要/当日先着順)

◆受講料：入館料のみで受講できます(友の会会員 300 円, 一般 400 円)

※常設展および開催中の企画展・新春展もご覧いただけます。

天理参考館
寄付のご案内

天理参考館では皆様からの寄付をお願いしております。詳細は下記のサイトをご覧ください。
<http://www.sankokan.jp/etc/kihu.html>

世界の生活文化と考古美術の博物館
天理大学附属

天理参考館

TENRI UNIVERSITY SANKOKAN MUSEUM
〒632-8540 奈良県天理市守目堂町 250 番地
TEL 0743-63-8414 FAX 0743-63-7721
URL <http://www.sankokan.jp/>